

東証一部 6143

未来を創る

2017年12月期 第2四半期

決算説明会

2017年11月21日

Sodick
株式会社 ソディック

2017年12月期 2Q連結対象期間について	3
I. 2017年12月期 2Q決算概要	4
II. 2017年12月期 業績予想	14
III. 比較参考数値	19
(参考資料)	25

2017年12月期 第2四半期 連結対象期間について

- ✓ 2017年度より決算期を3月31日から12月31日に変更し、中国の子会社との3ヶ月間の期ズレを解消。2017年12月期は9か月間の変則決算となります。

①2017年12月期 第2四半期の連結対象期間（財務報告ベース）

- 3月決算会社：2017年4～9月 ●12月決算会社（中国の7社）：2017年1～9月

	1-3月	2017年3月期			2017年12月期			
		4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q	1-3月 4Q	4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q
3月決算会社		6ヶ月				6ヶ月		
12月決算会社	6ヶ月				9ヶ月			

②比較参考数値の連結対象期間（比較参考数値：調整後）

- 2016年：全社 2016年1～9月 ●2017年：全社 2017年1～9月

	1-3月	2017年3月期			2017年12月期		
		4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q	1-3月 4Q	4-6月 1Q	7-9月 2Q
3月決算会社							
12月決算会社							

※比較参考数値はP.19～24 をご参照下さい。

I. 2017年12月期 2Q決算概要



業績ハイライト (財務報告ベース)

- ✓ 中華圏を中心に放電加工機の販売台数が大きく増加したことにより、売上高・利益共に当初計画を上回る水準で進捗。
- ✓ 利益面では、販売台数増加に伴い利益率は大幅に改善。

(百万円)

	2017年3月期 2Q		2017年12月期 2Q		2017年12月期 (4月～12月： 9か月変則) 修正通期予想	
	実績	利益率	実績	利益率		
売上高	28,387	-	42,408	-	60,500	
売上総利益	10,323	36.4%	14,574	34.4%	-	
営業利益	1,982	7.0%	4,206	9.9%	6,000	
経常利益	1,050	3.7%	4,466	10.5%	6,300	
純利益	1,058	3.7%	3,159	7.4%	4,300	
包括利益	△3,212		4,009			
期中平均 為替レート	ドル ユーロ 人民元 バーツ	105.20 円 118.04 円 17.05 円 3.00 円		111.04 円 126.32 円 16.47 円 3.28 円		111.60 円 128.50 円 16.59 円 3.31 円

※参考情報 2017年9月末 為替レート ドル：112.73円 ユーロ：132.85円 人民元：16.96円 バーツ：3.38円
2016年9月末 為替レート ドル：101.12円 ユーロ：113.36円 人民元：15.46円 バーツ：2.91円

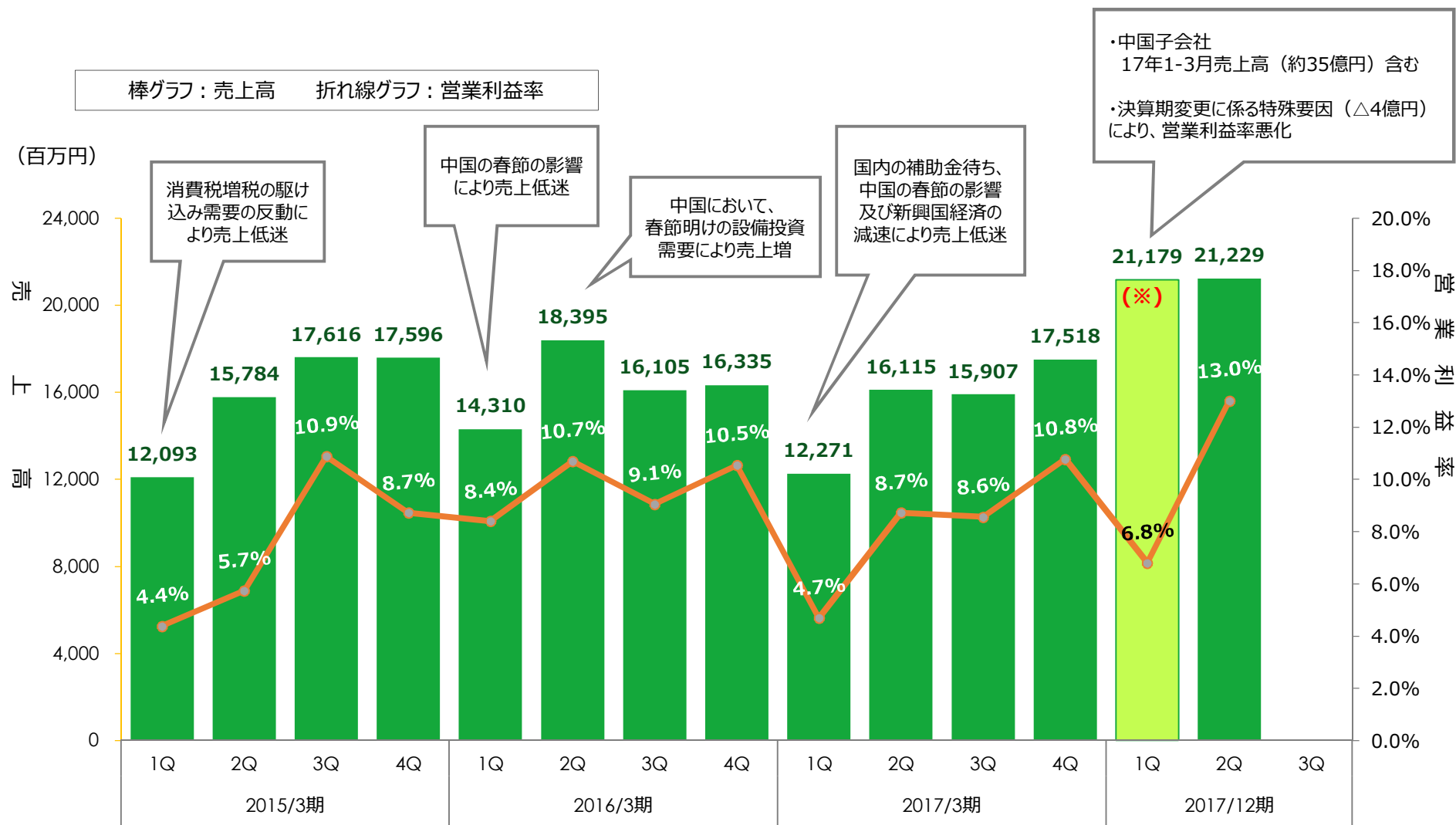
※決算期変更に伴い、2017年12月期第2四半期は3月決算会社は4～9月の6ヶ月間、12月決算会社は1月～9月の9ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同四半期比増減については記載しておりません。

※決算期変更に伴う影響額（営業利益に対し約4億円マイナス）。

※2017年12月期通期業績予想を修正しております。詳細はP.16をご参照ください。

売上高・営業利益率推移（四半期毎：財務報告ベース）

- ✓ 中華圏での販売が牽引し、売上高は212億円と四半期で過去最高水準を確保。
- ✓ 利益率は、販売台数増加に伴い利益率は大幅に改善、13.0%と高水準を確保。



(※)決算期変更による変則決算のため、3月決算会社の4-6月及び12月決算会社の1-6月の数値を含みます。

セグメント別業績 (財務報告ベース)



(百万円)

		2017年3月期	2017年12月期
		2Q 実績	2Q 実績
売上高	● 工作機械事業	19,983	31,494
	● 産業機械事業	3,860	6,531
	● 食品機械事業	1,772	1,493
	● その他事業	2,770	2,888
		28,387	42,408
セグメント利益	● 工作機械事業	2,606	4,220
	● 産業機械事業	17	714
	● 食品機械事業	154	△ 68
	● その他事業	483	653
	3,262	5,519	
調整額		△ 1,279	△ 1,313
営業利益 合計		1,982	4,206

工作機械事業

- ✓ 国内は、3月に採択されたものづくり補助金に係る受注が売上増加に寄与したほか、自動車、スマートフォン関連からの受注堅調。
- ✓ 北米は、堅調だった自動車、航空宇宙、医療機器関連の需要に一服感あり。
- ✓ 欧州はロシア、トルコ等で停滞感がある一方、ドイツ、イギリス、イタリアを中心に自動車、航空宇宙関連からの需要が堅調。
- ✓ 中華圏は、ものづくりの高度化や自動化対応、中国政府の補助金政策の影響もあり、電動化が進む自動車関連や高度化するスマートフォン関連を中心に高水準な受注、販売が継続。
- ✓ アジアはタイやマレーシアを中心に自動車関連の需要が拡大基調にあるほか、韓国でも半導体やスマートフォン関連からの需要堅調。

産業機械事業

- ✓ 国内は、車載用コネクタやセンサー部品、スマートフォン用光学レンズやコネクタなど高付加価値部品向けの需要が旺盛だったほか、自動車用部品向けに堅型成形機の需要も堅調。
- ✓ 中華圏・アジアにおいても、スマートフォン及び車載カメラ用光学レンズの成形や防水対応用のシリコン成形の需要が好調。

食品機械事業

- ✓ 調理麺の品質向上のための設備投資需要あり。
- ✓ 製菓、包装米飯など製麺業界以外からの機械需要あり。
- ✓ 複数案件の検収が第3四半期以降にズレたため、売上低迷。
- ✓ 新製品立ち上げコストの一時的な発生により、セグメント利益はマイナス。

その他事業

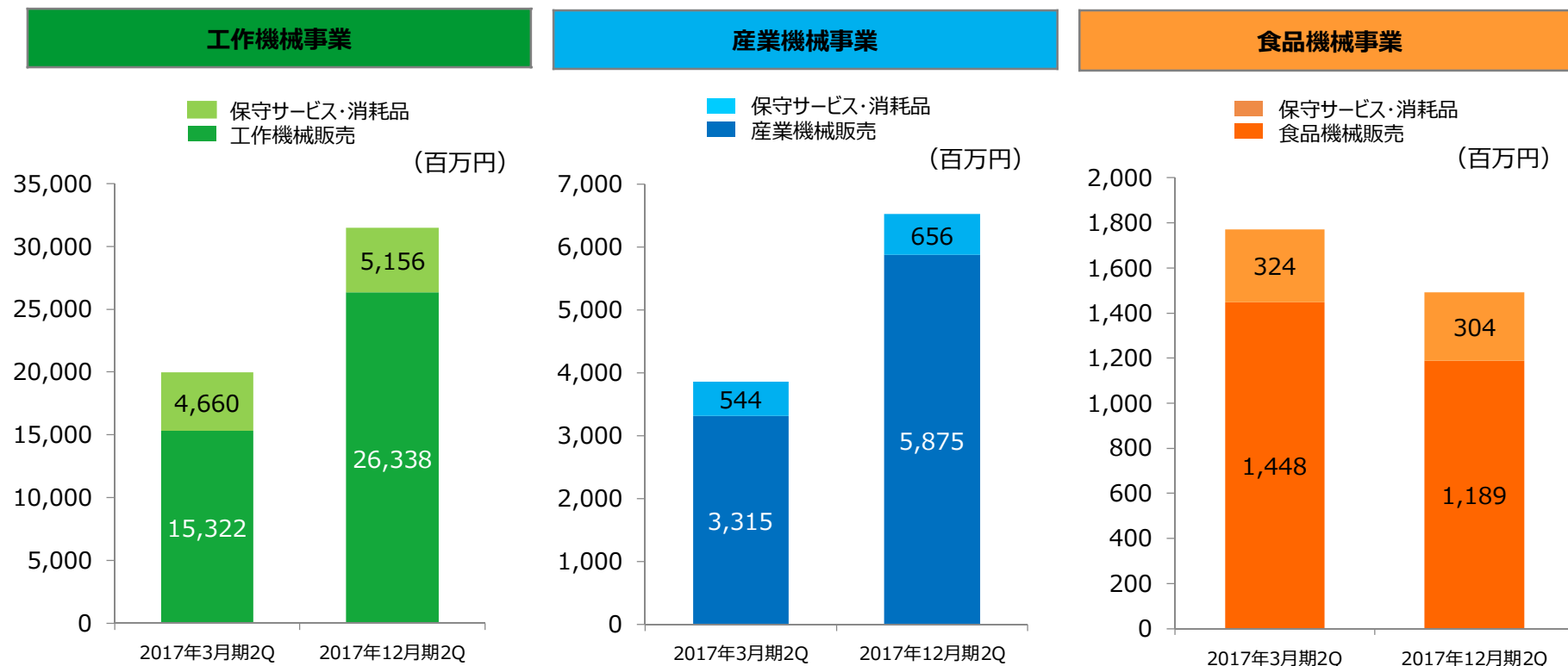
- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの販売が順調。

※決算期変更に伴い、2017年12月期第2四半期は3月決算会社は4～9月の6ヶ月間、12月決算会社は1月～9月の9ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同四半期比増減については記載しておりません。

セグメント別 売上高内訳 (財務報告ベース)



✓ 安定キャッシュを生み出す保守サービス・消耗品の売上高は15%程度を占める。



工作機械事業	2017年3月期2Q	2017年12月期2Q
工作機械販売	15,322	26,338
保守サービス・消耗品	4,660	5,156
合計	19,983	31,494

産業機械事業	2017年3月期2Q	2017年12月期2Q
射出成形機販売	3,315	5,875
保守サービス・消耗品	544	656
合計	3,860	6,531

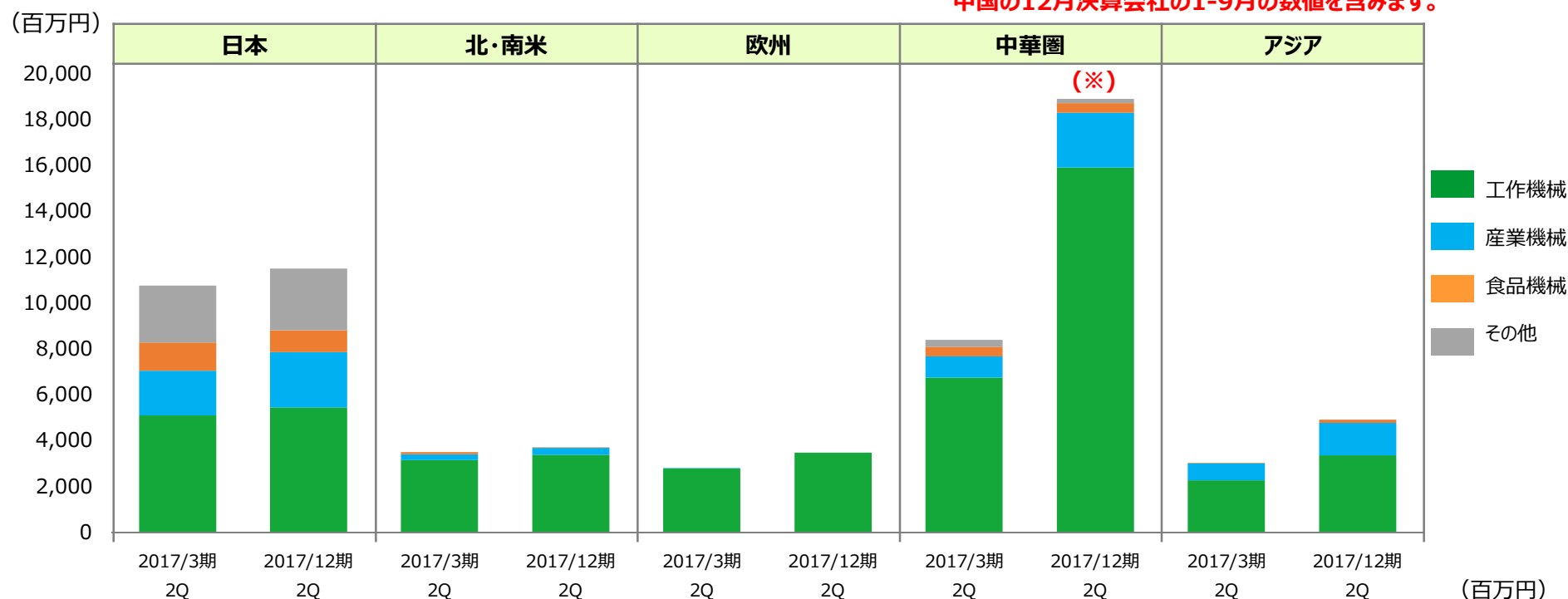
食品機械事業	2017年3月期2Q	2017年12月期2Q
食品機械販売	1,448	1,189
保守サービス・消耗品	324	304
合計	1,772	1,493

※決算期変更に伴い、2017年12月期第2四半期は3月決算会社は4～9月の6ヶ月間、12月決算会社は1月～9月の9ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。

事業別海外売上高比率 (財務報告ベース)



※決算期変更による変則決算のため、
中国の12月決算会社の1-9月の数値を含みます。



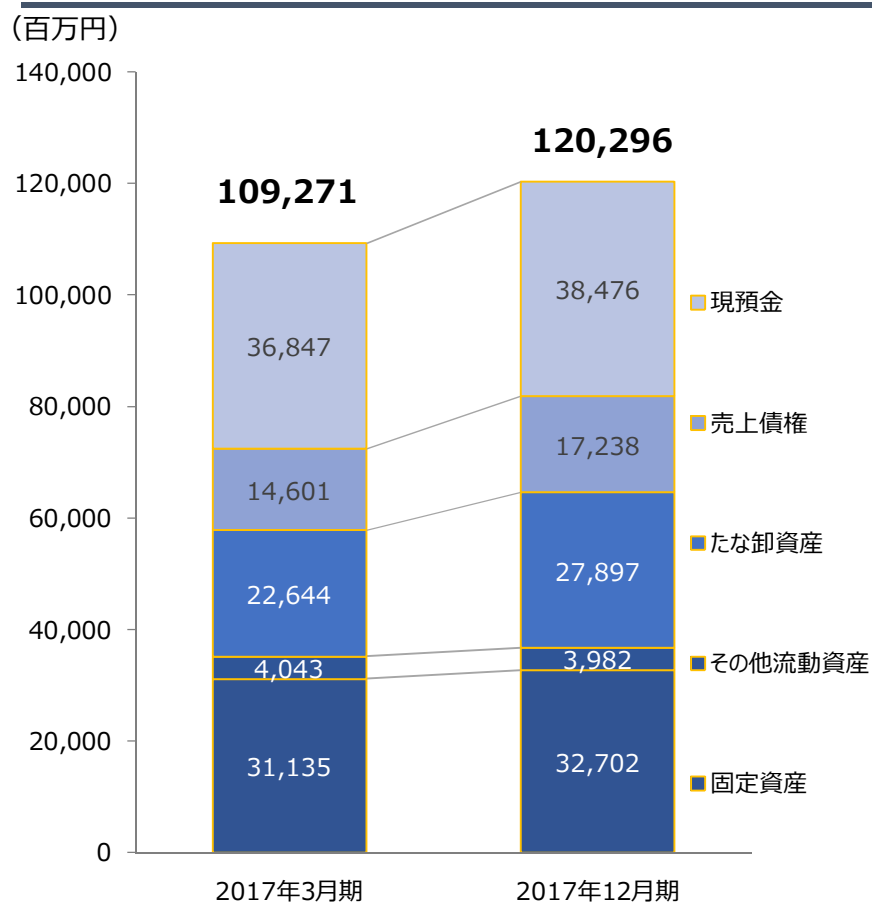
2017年3月期2Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	5,091	25.5%	3,131	15.7%	2,765	13.8%	6,727	33.7%	2,268	11.3%	19,983	70.4%
産業機械	1,941	50.3%	263	6.8%	3	0.1%	927	24.0%	723	18.8%	3,860	13.6%
食品機械	1,235	69.7%	85	4.8%	-	-	420	23.7%	32	1.8%	1,772	6.2%
その他	2,474	89.3%	-	-	-	-	296	10.7%	-	-	2,770	9.8%
地域別計	10,743	37.8%	3,480	12.3%	2,768	9.8%	8,371	29.5%	3,023	10.6%	28,387	100.0%

2017年12月期2Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	5,437	17.3%	3,366	10.7%	3,470	11.0%	15,876	50.4%	3,343	10.6%	31,494	74.3%
産業機械	2,400	36.8%	310	4.7%	0	0.0%	2,401	36.8%	1,418	21.7%	6,531	15.4%
食品機械	963	64.5%	1	0.1%	-	-	400	26.8%	127	8.6%	1,493	3.5%
その他	2,686	93.0%	-	-	-	-	202	7.0%	-	-	2,888	6.8%
地域別計	11,488	27.1%	3,677	8.7%	3,470	8.2%	18,881	44.5%	4,890	11.5%	42,408	100.0%

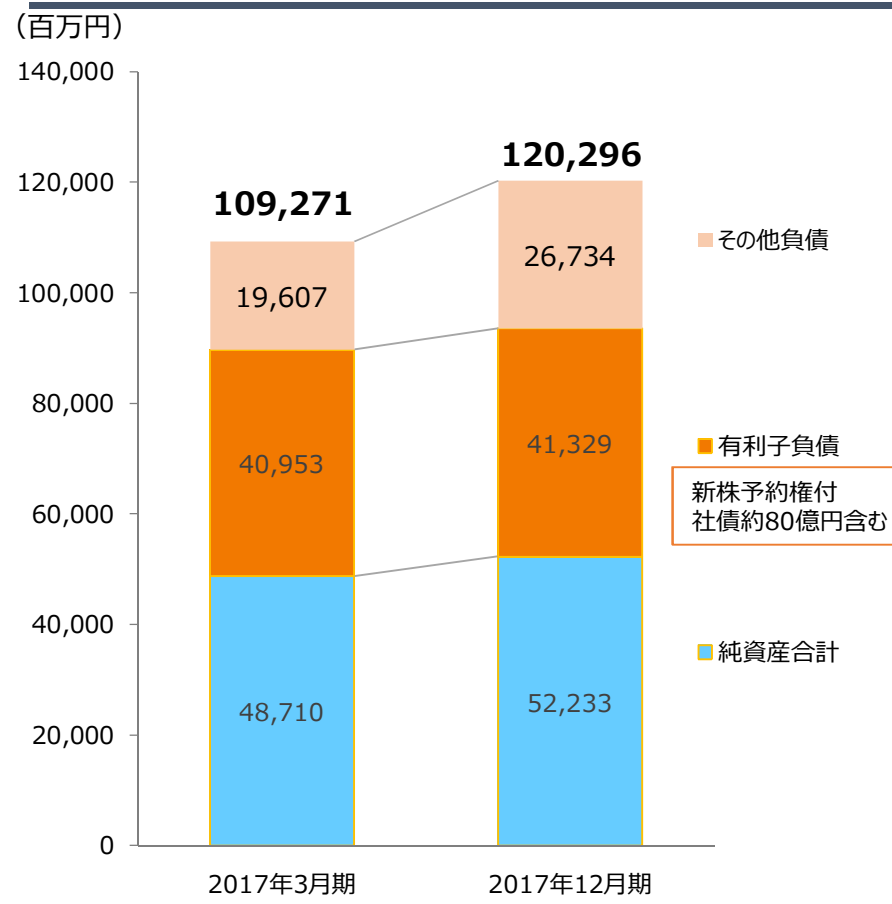
貸借対照表

- ✓ 受注増加に伴い、売上債権、たな卸資産が大幅に増加。
- ✓ ネット有利子負債は28億53百万円（前期末比12億53百万円減少）。

資産



負債・純資産



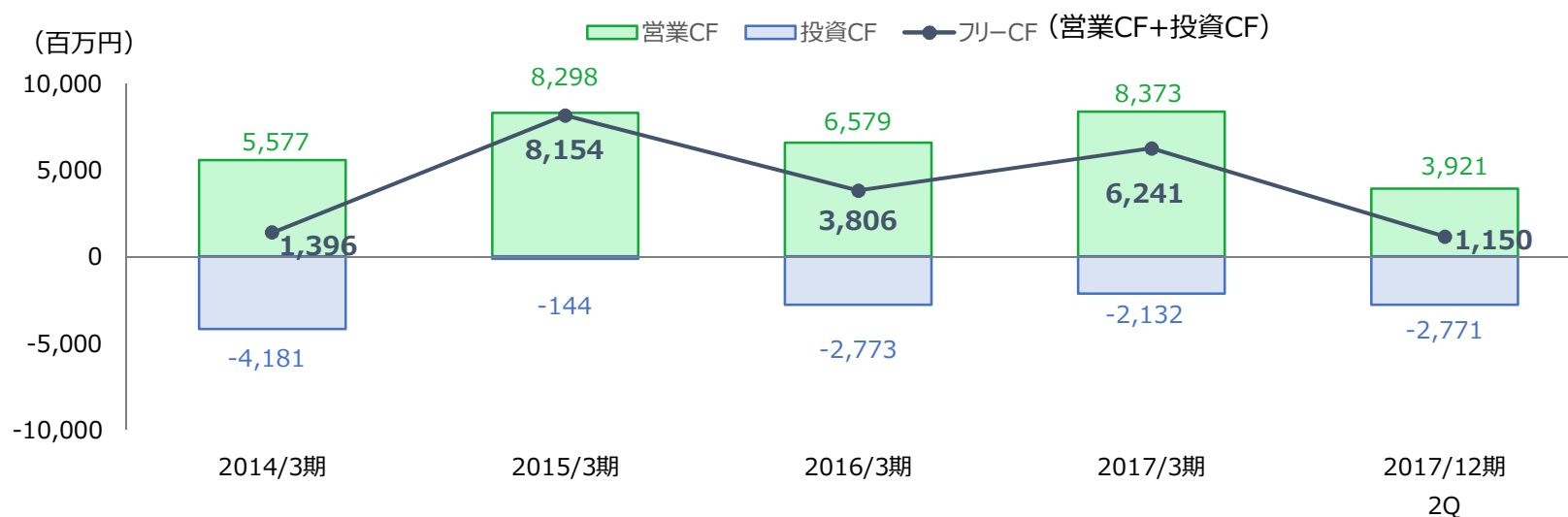
※参考情報 2017年9月末 為替レート ドル：112.73円 ユーロ：132.85円 人民元：16.96円 バーツ：3.38円
 2017年3月期末 為替レート ドル：112.19円 ユーロ：119.79円 人民元：16.76円 バーツ：3.26円

キャッシュ・フロー

- ✓ 投資活動によるキャッシュ・フローが大幅に増加しているものの、営業キャッシュ・フローの範囲内に収まっており、フリーキャッシュ・フローは11億50百万円のプラスを維持。

(百万円)

	2017年3月期 2Q	2017年3月期	2017年12月期 2Q	主な増減要因 (前年同四半期比)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,960	8,373	3,921	売上債権、たな卸資産の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△526	△2,132	△2,771	有形固定資産の取得 △約22億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,263	3,134	△255	長期借入金の返済による支出
現金及び現金同等物の期末残高	38,007	36,037	37,306	



1 リニアモータ駆動 高速・高性能 大型ワイヤ放電加工機「AL800G」、「ALN800G」販売開始

精密金型、精密部品加工分野において好評を頂いておりますワイヤ放電加工機「ALシリーズ」のラインナップに、より広範な加工が可能な機種として「AL800G」、「ALN800G」を新たに加えることになりました。

自動車関連、電気関連の大型金型や、エネルギー・航空宇宙、自動車関連の大型部品加工に適しております。「Sodick IoT」を標準対応しており、インターネットを活用した次世代のものづくりもサポートします。

「AL800G」では、先進的な環境対応型機械として独創的なフルカバースタイルを採用しており、グローバル規格に準拠しています。

※製品の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL : https://www.sodick.co.jp/pdf/170828094909_AL800G_NewsRelease_JP.pdf



▲AL800G

2 電動射出成形機 eV-LINE 「MS50」「MS200」販売開始

精密で複雑なプラスチック製品の成形で高い評価を頂いている、V-LINE方式の射出可塑化装置を電動化したeV-LINEを搭載した「MSシリーズ」の新モデルを開発いたしました。

2016年11月に先行してリリースした型締力100トンの「MS100」に、より精密な小物成形品に対応する同50トンの「MS50」、自動車部品などのより大きな成形品に対応する同200トンの「MS200」を加え、ラインナップを拡充しました。新興国などのボリュームゾーンをターゲットに、シェア拡大を目指します。

※製品の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL : https://www.sodick.co.jp/pdf/170904101511_20170904_NewsRelease_MS50_MS200.pdf



▲MS200

3 EMO2017（国際金属加工見本市） 出展

ドイツ・ハノーバーにて開催された世界最大級の工作機械見本市「EMO 2017」に出展いたしました。世界初出展となる新機種、リニアモータ駆動 高速・高性能 大型ワイヤ放電加工機「ALC800G」、リニアモータ駆動 高速ワイヤ放電加工機「VL600QH」をはじめ、最新鋭の機種を展示いたしました。

当社ブースは、世界各国の来場者の関心を集め、多くの引き合いをいただくことが出来ました。

【EMO 2017 概要】

開催場所：ドイツ ハノーバー

開催期間：2017/9/18-23（6日間）

出展機種：ワイヤ放電加工機 ALC800G、VL600QH、ALC600G、精密金属3Dプリンタ OPM250L
彫り放電加工機 AG60L+Robotシステム、AD55 L

来場者数：約13万人



▲当社ブース風景

4 I P F 2017（国際プラスチックフェア） 出展

幕張メッセにて開催された「I P F 2017」に、“V-LINE®が切り拓く新たなソリューション”をテーマとし、世界初出展の新製品「MR30による自動生産システムICF-V」や、eV-LINE電動射出成形機「MS50」「MS200」など、多数の最新鋭機を展示し、当社ブースには多くのお客様にご来場いただき、活況となりました。

【I P F 2017 概要】

開催場所：幕張メッセ

開催期間：2017/10/24-28（5日間）

出展機種：eV-LINE O P M金型専用 生産セルシステム MR30による自動生産システム「ICF-V」（Injection molding Cell Factory by V-LINE system）
eV-LINE 電動射出成形機 MS50、MS200 等

来場者数：約4万人



▲MR30による自動生産システム ICF-V

Ⅱ. 2017年12月期 業績予想

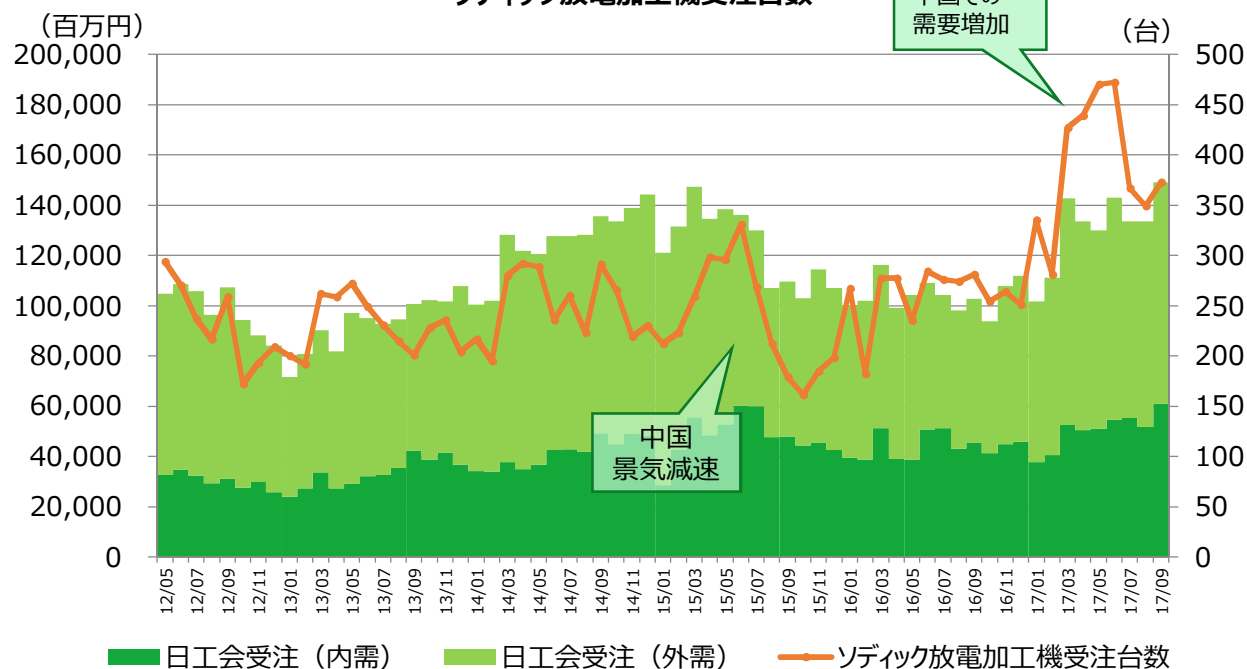


市場環境

- ✓ 国内：政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要により、堅調な需要が継続する見通し。
- ✓ 北米：自動車関連は一服感が見られるものの、航空宇宙、医療機器関連の設備投資需要は底堅く推移する見通し。
米国新政権の経済政策の影響など不確定要素も多く、先行きに不透明感がある。
- ✓ 欧州：ロシアやトルコなどの地域では減速感が見られる他、イギリスのEU離脱問題などもあり先行きに不透明感はあるものの、自動車、航空宇宙関連の需要は堅調に推移する見通し。
- ✓ 中国：好調な個人消費と政府主導のインフラ投資等を背景に経済成長率は拡大基調。
人件費の高騰等を背景に自動化への対応、より高精度な機械の需要の増加が期待できる。
- ✓ アジア：タイ、マレーシアなどでは自動車関連を中心に回復基調が続く見通し。

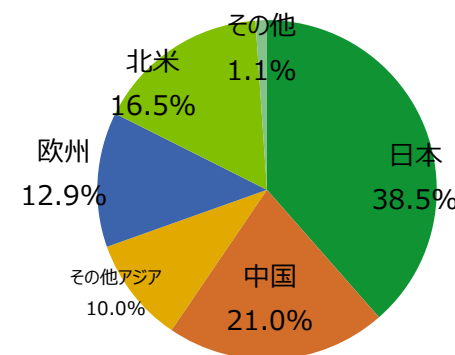
日本工作機械工業会 工作機械受注金額・

ソディック放電加工機受注台数



出典：日本工作機械工業会

日本工作機械工業会
工作機械 地域別受注構成比
(2017年1月-9月累計)



出典：日本工作機械工業会

2017年12月期 通期業績予想 ※財務報告ベース



- ✓ 第2四半期累計期間の業績が当初計画を上回ったこと、足元の受注動向が堅調に推移していることを踏まえ、売上高・利益共に上方修正。

(百万円)

	2017年12月期 通期		2017年12月期 通期		増減		2017年12月期 2Q実績	進捗率
	当初予想 (5/12公表)	利益率	修正予想	利益率	金額	増減率		
売上高	55,800	-	60,500	-	4,700	8.4%	42,408	70.1%
営業利益	5,300	9.5%	6,000	9.9%	700	13.2%	4,206	70.1%
経常利益	5,200	9.3%	6,300	10.4%	1,100	21.2%	4,466	70.9%
当期純利益	3,700	6.6%	4,300	7.1%	600	16.2%	3,159	73.5%
包括利益								
ROE								

期中平均 為替レート	ドル	105.00 円		111.60 円			111.04 円	
	ユーロ	116.00 円		128.50 円			126.32 円	
	人民元	15.80 円		16.59 円			16.47 円	
	バーツ	3.16 円		3.31 円			3.28 円	

※2017年12月期 通期業績予想を修正しております。
詳細につきましては、平成29年11月14日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別 通期業績予想 ※財務報告ベース



(百万円)

工作機械事業

- ✓ 国内は老朽化設備の更新需要もあり堅調に推移する見通し。
- ✓ 北米は一服感が見られるものの、欧州は設備投資需要は堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏は、自動車、スマートフォン関連向けの高精度機の需要が引き続き好調に推移する見通し。
- ✓ タイ・マレーシアなどの自動車関連を中心に堅調に推移する見通し。

産業機械事業

- ✓ 国内市場は自動車、電子部品、半導体関連を中心に堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏およびアジア地域ではスマートフォン、コネクタ関連向けの高精度な機械需要が増加しており、高い受注水準が継続する見通し。

食品機械事業

- ✓ 高品質な麺需要が引続き見込まれるほか、製菓、包装米飯・包装惣菜など製麺業界以外の販売が拡大していく見通し。
- ✓ 新製品の立上げコストもあり利益は伸び悩む見通し。

その他事業

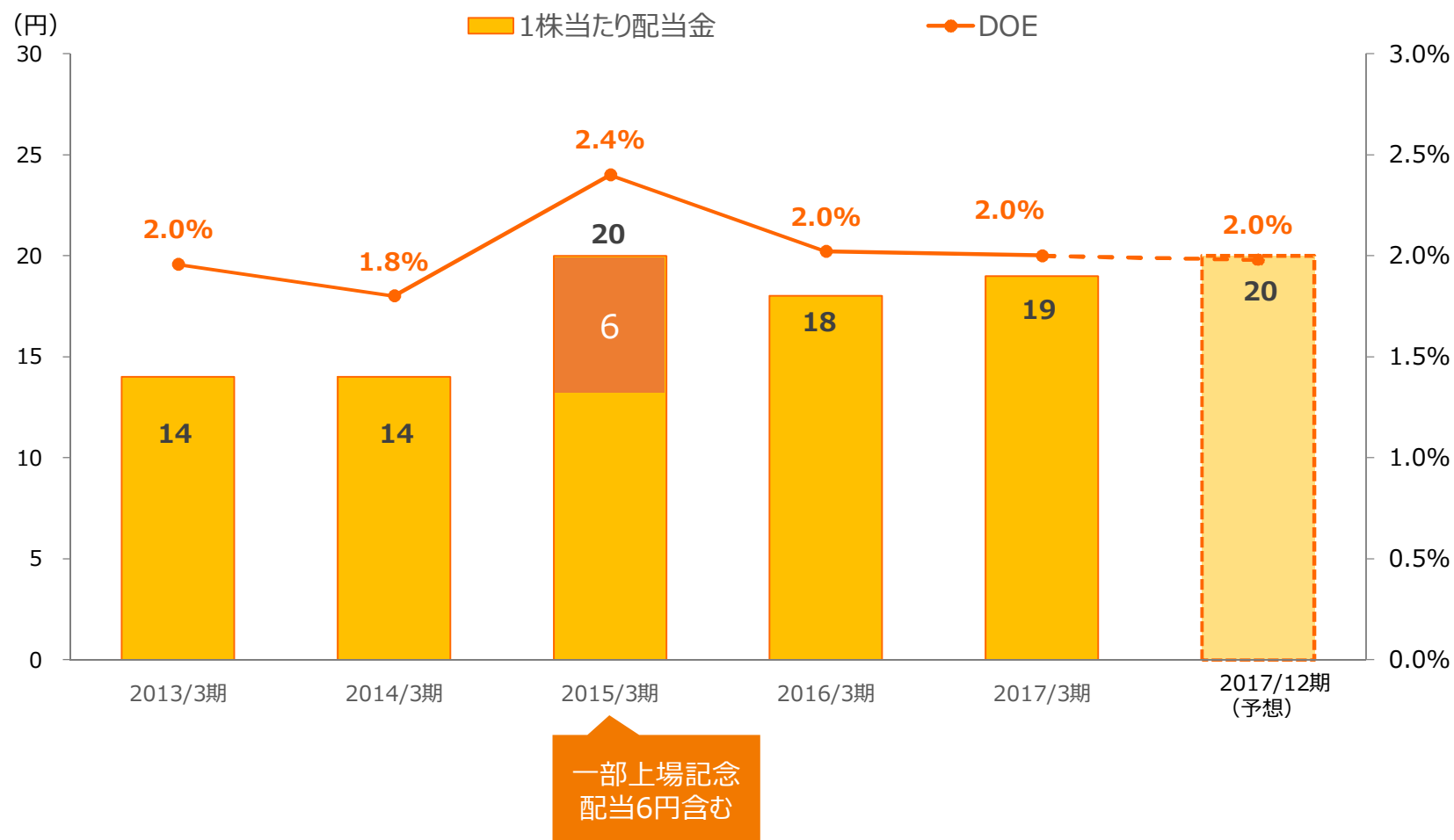
- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの外販も引き続き堅調に推移する見通し。

	2017年12月期 通期		増減		2017年12月期 2Q実績	進捗率	
	当初予想 (5/12公表)	修正予想	金額	増減率			
売上高	● 工作機械事業	38,400	43,000	4,600	12.0%	31,494	73.2%
	● 産業機械事業	9,060	9,700	640	7.1%	6,531	67.3%
	● 食品機械事業	3,800	3,600	△ 200	△5.3%	1,493	41.5%
	● その他事業	4,540	4,200	△ 340	△7.5%	2,888	68.8%
		55,800	60,500	4,700	8.4%	42,408	70.1%
セグメント利益	● 工作機械事業	5,380	5,950	570	10.6%	4,220	70.9%
	● 産業機械事業	850	1,000	150	17.6%	714	71.5%
	● 食品機械事業	370	50	△ 320	△86.5%	△ 68	-
	● その他事業	600	900	300	50.0%	653	72.7%
		7,200	7,900	700	9.7%	5,519	69.9%
調整額	△ 1,900	△ 1,900	0	-	△ 1,313	-	
営業利益 合計	5,300	6,000	700	13.2%	4,206	70.1%	

※業績予想の修正に伴い、セグメント別通期業績予想についても一部修正しております。

株主還元方針及び配当予想

- ✓ 配当方針として株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 2017年12月期の年間配当金は、20円を予定（中間10円、期末10円）



Ⅲ. 比較参考数値

※監査法人による監査を受けていない参考数値です。

※比較参考数値は、決算期を3ヵ月ずらして連結していた中国の連結子会社の期ズレを解消し、全会社の連結対象期間を統一し調整した数値です。

業績ハイライト ※比較参考数値（調整後）

- ✓ 中華圏を中心に放電加工機の販売台数が大きく増加したことにより、売上高・利益共には期初計画を上回る水準で進捗。
- ✓ 利益面では、販売台数増加に伴い利益率は大幅に改善。

(百万円)

	2016年1～9月		2017年1～9月		増減		2017年 1月～12月 修正通期予想
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	
売上高	46,065	-	55,543	-	9,477	20.6%	73,800
売上総利益	16,400	35.6%	19,767	35.6%	3,367	20.5%	-
営業利益	3,633	7.9%	5,738	10.3%	2,104	57.9%	7,500
経常利益	2,608	5.7%	5,785	10.4%	3,176	121.8%	7,600
純利益	1,914	4.2%	3,941	7.1%	2,027	105.9%	5,100
期中平均 為替レート	ドル	108.57 円		111.89 円			111.60 円
	ユーロ	121.06 円		124.58 円			128.50 円
	人民元	16.44 円		16.47 円			16.59 円
	バーツ	3.08 円		3.27 円			3.31 円

※監査法人による監査を受けていない参考数値

※通期業績予想（財務報告ベース）の修正に伴い、通期予想（比較参考数値）につきましても一部修正しております。

セグメント別業績 ※比較参考数値（調整後）

(百万円)

		2016年 1~9月 実績	2017年 1~9月 実績	増減	
				(額)	(率)
売上高	● 工作機械事業	32,405	39,751	7,346	22.7%
	● 産業機械事業	6,259	9,269	3,009	48.1%
	● 食品機械事業	3,323	2,461	△ 862	△25.9%
	● その他事業	4,077	4,061	△ 16	△0.4%
		46,065	55,543	9,477	20.6%
セグメント 利益	● 工作機械事業	4,335	5,912	1,577	36.4%
	● 産業機械事業	219	1,199	980	447.7%
	● 食品機械事業	363	△ 115	△ 478	△131.7%
	● その他事業	585	685	100	17.1%
		5,502	7,681	2,179	39.6%
調整額		△ 1,868	△ 1,943	△ 75	-
営業利益 合計		3,633	5,738	2,104	57.9%

※監査法人による監査を受けていない参考数値

工作機械事業

- ✓ 国内は、3月に採択されたものづくり補助金に係る受注が売上増加に寄与したほか、自動車、スマートフォン関連からの受注堅調。
- ✓ 北米は、堅調だった自動車、航空宇宙、医療機器関連の需要に一服感あり。
- ✓ 欧州はロシア、トルコ等で停滞感がある一方、ドイツ、イギリス、イタリアを中心に自動車、航空宇宙関連からの需要が堅調。
- ✓ 中華圏は、ものづくりの高度化や自動化対応、中国政府の補助金政策の影響もあり、電動化が進む自動車関連や高度化するスマートフォン関連を中心に高水準な受注、販売が継続。
- ✓ アジアはタイやマレーシアを中心に自動車関連の需要が拡大基調にあるほか、韓国でも半導体やスマートフォン関連からの需要堅調

産業機械事業

- ✓ 国内は、車載用コネクタやセンサー部品、スマートフォン用光学レンズやコネクタなど高付加価値部品向けの需要が旺盛だったほか、自動車用部品向けに型成形機の需要も堅調。
- ✓ 中華圏・アジアにおいても、スマートフォン及び車載カメラ用光学レンズの成形や防水対応用のシリコン成形の需要が好調。

食品機械事業

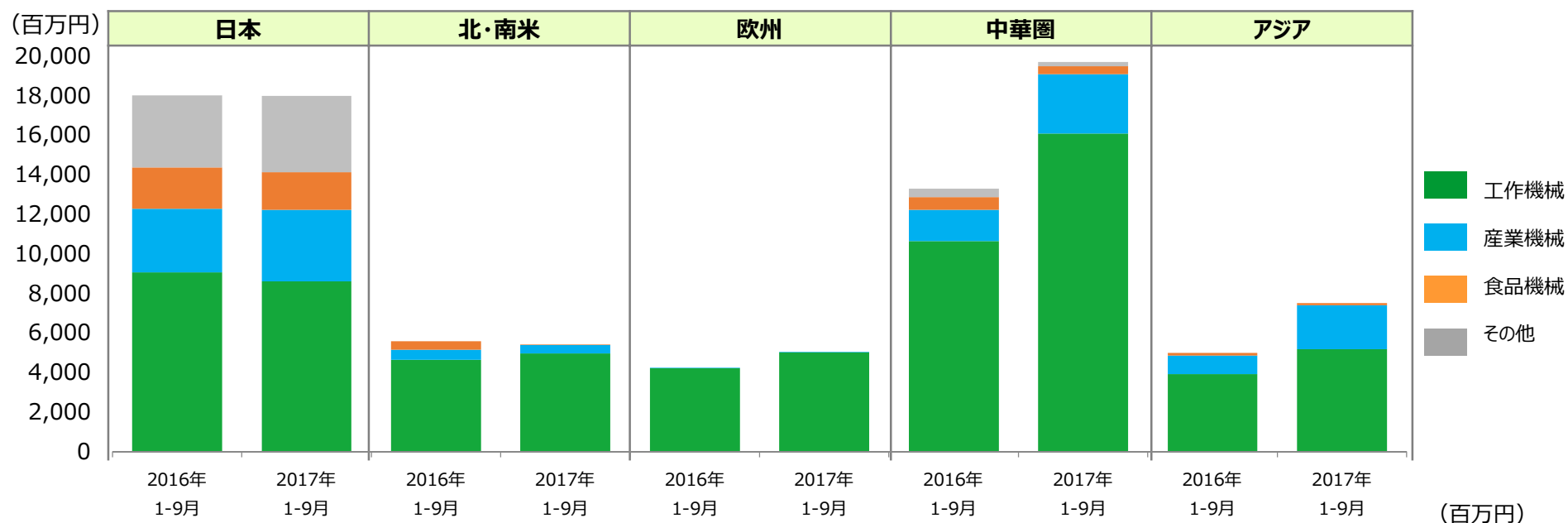
- ✓ 調理麺の品質向上のための設備投資需要あり。
- ✓ 製菓、包装米飯など製麺業界以外からの機械需要あり。
- ✓ 複数案件の検収が第3四半期以降にズレたため、売上低迷。
- ✓ 新製品立ち上げコストの一時的な発生により、セグメント利益はマイナス。

その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの販売が順調。

事業別海外売上高比率 ※比較参考数値（調整後）

✓ グローバルに事業を展開、海外売上高比率は67.6%



2016年1～9月	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	9,052	27.9%	4,614	14.2%	4,203	13.0%	10,622	32.8%	3,912	12.1%	32,405	70.3%
産業機械	3,202	51.2%	527	8.4%	27	0.4%	1,585	25.3%	916	14.7%	6,259	13.6%
食品機械	2,099	63.2%	431	13.0%	-	-	635	19.1%	157	4.7%	3,323	7.2%
その他	3,645	89.4%	-	-	-	-	432	10.6%	-	-	4,077	8.9%
地域別計	18,000	39.1%	5,572	12.1%	4,230	9.2%	13,275	28.8%	4,986	10.8%	46,065	

2017年1～9月	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	8,583	21.6%	4,939	12.4%	4,998	12.6%	16,078	40.4%	5,151	13.0%	39,751	71.6%
産業機械	3,616	39.0%	431	4.7%	0	0.0%	2,997	32.3%	2,222	24.0%	9,269	16.7%
食品機械	1,909	77.6%	20	0.8%	-	-	401	16.3%	129	5.3%	2,461	4.4%
その他	3,858	95.0%	-	-	-	-	203	5.0%	-	-	4,061	7.3%
地域別計	17,968	32.4%	5,391	9.7%	4,998	9.0%	19,681	35.4%	7,503	13.5%	55,543	

※監査法人による監査を受けていない参考数値

2017年12月期 通期業績予想

※比較参考数値（調整後）



- ✓ 2017年1～9月の業績が当初計画よりも上回ったこと、足元の受注動向が堅調に推移していることを踏まえ、売上高・利益共に上方修正。

(百万円)

	2017年3月期		2017年12月期 通期 (2017年1～12月)		増減		2017年12月期 1～9月実績	進捗率
	実績	利益率	修正予想	利益率	金額	増減率		
売上高	61,812	-	73,800	-	11,987	19.4%	55,543	75.3%
営業利益	5,236	8.5%	7,500	10.2%	2,263	43.2%	5,738	76.5%
経常利益	4,620	7.5%	7,600	10.3%	2,979	64.5%	5,785	76.1%
当期純利益	3,644	5.9%	5,100	6.9%	1,455	39.9%	3,941	77.3%
包括利益	2,728							
ROE	7.4%							

期中平均 為替レート	ドル	108.34 円		111.60 円			111.89 円	
	ユーロ	118.74 円		128.50 円			124.58 円	
	人民元	16.32 円		16.59 円			16.47 円	
	バーツ	3.08 円		3.31 円			3.27 円	

※監査法人による監査を受けていない参考数値

セグメント別 通期業績予想

※比較参考数値 (調整後)



(百万円)

		2017年3月期	2017年12月期 通期 (2017年1~12月)	増減		2017年12月期 1~9月実績	進捗率
		実績	修正予想	金額	増減率		
売上高	● 工作機械事業	43,355	51,300	7,944	18.3%	39,751	77.5%
	● 産業機械事業	9,366	12,400	3,033	32.4%	9,269	74.8%
	● 食品機械事業	3,429	4,650	1,220	35.6%	2,461	52.9%
	● その他事業	5,661	5,450	△ 211	△3.7%	4,061	74.5%
		61,812	73,800	11,987	19.4%	55,543	75.3%
セグメント 利益	● 工作機械事業	6,213	7,600	1,386	22.3%	5,912	77.8%
	● 産業機械事業	617	1,500	882	142.7%	1,199	80.0%
	● 食品機械事業	159	△ 10	△ 169	△106.3%	△ 115	1150.5%
	● その他事業	859	1,000	140	16.3%	685	68.5%
		7,851	10,090	2,238	28.5%	7,681	76.1%
	調整額	△2,614	△ 2,590	24	-	△ 1,943	-
	営業利益 合計	5,236	7,500	2,263	43.2%	5,738	76.5%

※監査法人による監査を受けていない参考数値

(参考資料)



国内外の拠点



主な展示会への出展情報

✓ 国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	開催地		展示会	概要
2017年				
10/11~13	ベトナム	ハノイ	MTA Vietnam	
10/12~14	ベトナム	ホーチミン	METALEX VIETNAM (ベトナム国際工作機械・加工展)	
10/18~21	日本	名古屋	M E C T 2017 (メカトロテックジャパン2017)	2017年 国内最大級の工作機械見本市
10/24~28	日本	幕張	I P F 2017 (国際プラスチックフェア)	
11/22~25	タイ	バンコク	MetalexThai (タイ国際工作機械・加工展)	
11/28~12/1	中国	東莞	東莞DMP2017 (東莞国際金型・金属加工展覧会)	
12/6~9	インドネシア	ジャカルタ	Machine Tools Indonesia	
2018年				
2/20~24	ドイツ	デュッセルドルフ	METAV (International Exhibition for Metalworking Technologie)	
4/3~7	韓国	ソウル	SIMTOS 2018	
4/9~13	英国	バーミンガム	MACH 2018	
4/11~14	インド	ムンバイ	11th Die&Mold India International Exhibition	
4/18~21	日本	大阪	インターモールド大阪	
4/24~26	USA	テキサス	Rapid	3Dプリンタの展示会
4/24~27	中国	上海	ChinaPlas 2018 (国際プラスチック・ゴム産業展)	
4月下旬	ベトナム	ハノイ	MTA Hanoi	
5/14~18	ロシア	モスクワ	Metallobrabotka (international show for the machine tool and metalworking industry)	
5/16~19	タイ	バンコク	INTERMACH	
5/23~26	マレーシア	クアラルンプール	MetalTech	
6月	中国	上海	DMC2018 (International Exhibition on Die & Mould Technology and Equipment)	
6/20~23	タイ	バンコク	Intermold/Interplus	
6/26~30	中国	北京	CIMES (China International Machine Tools & Tools Exhibition)	
7/3~6	ベトナム	ホーチミン	MTA Vietnam HoChiMinh (International Precision Engineering, Machine Tools and Metalworking Exhibition & Conference)	
9/10~15	USA	シカゴ	IMTS2018	世界最大級の工作機械展示会
11/1~6	日本	東京	JIMTOF2018	世界最大級の工作機械展示会

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック 経営管理部

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835